

# KOUNAN SMILE vol.29

～江南ラミネートを取り巻くすべての人たちに笑顔を～

2019.2

## 日本人のこころである縁を大切に生きていきましょう

「縁」—— 今まで生きてきて、縁というものを感じたことがないという人はいるでしょうか。。。どれだけ大切にしているかは一人ひとり違うかもしれませんが、今までの人生で、誰かしら、何かしらの縁を感じたことがあるのではないかと思います。

先日『日本のこころの教育』で有名な境野勝悟先生の講演を社長と、新田さん、宗石さんの4名で聴きに行ってきました。そこで聴いた話ですが「縁」という言葉は英語にはないそうです。つまり欧米の人の中に「縁」という考え方がないということなんです。日本人特有のものだそうです。【この世のすべては縁が起す→「縁起」】【結婚は理屈じゃない、縁です→「縁談」】なるほど～。人間には計り知れない縁、それを感じて生きていくだけでも日本人でよかった～！って思いますよね。

この江南ラミネートという会社が集まったのもまさに「縁」だと思っています。星の数ほどある会社の中で、また人類の歴史の中でいうとほんの一瞬のこの時に、この場所で、今一緒に働いている、本当にすごいことです！ 自分の人生で出会うことのできる人の数は限られています。そのほんの一握りの中に江南ラミネートの仲間がいる。縁以外何ものでもないと思います！でもそれが「いい縁」になるか「悪い縁」になるかは別です。境野先生は「ありがとうと言えばいい縁がつく」「縁を良くするには感謝すること」と言っていました。それを聴いたとき、私自身、みなさんへの感謝の気持ちが薄れてしまっていたかも・・・とハッとさせられました。タイムカードに向けてする礼もいつの間にか形だけになっていたようにと思います(泣)

「いい会社づくり」をめざしていく中で、できていない部分、改善したい点などが目につき、現状に不満を持ってしまっている自分がいるように思います。また自分自身に対しても、日々の忙しさで(言い訳ですが・・・)繰り返しの毎日になってしまうことの焦りや苛立ちで、感謝から離れた生活をしてしまっていたかなと思います。今という瞬間に感謝しながら生きること、原点に立ち返らないといけないと思いました。もちろん現状に満足したら努力しなくなる、改善していくことができないという考えもありますし、それも間違いではありません。でも今に感謝し、心が満たされていれば、人は新しいことにも挑戦し、成長していけるのだと思います。江南ラミネートという「縁」でつながったこの奇跡にもっと感謝しなければいけませんね。そして、みなさんにもそう感じて欲しいと思います。木鶏会や「いい会社づくりプロジェクト」が始まったこの時期に江南ラミネートにいるということも「縁」なんです。「なんでこんなことが始まるのか」とか「俺がいるときになんで・・・」なんて言っても仕方ありませんね、縁なんですから！(笑)縁に不満を持つのではなく、縁を受け入れ、縁に感謝し、江南ラミネートでの出会いを意味あるものにしていきましょう。

**「良き縁」に感謝！！**

by きよこ

「この出会いを意味あるものにする！と最初から決める」

by 喜多川 泰

社員の方と一緒に聴けたことに喜びを感じます



伊勢 雅さん  
1月17日  
第2子出産  
茉里望(まりの)ちゃん  
2冊の本がきつと良い父親へと導いてくれることでしょう！

僕ちゃんもいるよ～




単身赴任の宗石さん、「一人の食事は寂しがるよ～」と優しい先輩たちが、入社2日目に早速プチ歓迎会を。めちゃ楽しそう・・・こんなに笑えるのって幸せですね～♪ 見てるだけで、こっちは幸せになれる～ (一樹さんの投稿より Thanks!)

1月4日 新年全体朝礼

いい会社づくりプロジェクト委員会 発信

江南初、新年全体朝礼が行われました。経営理念唱和の後、社長、3工場長、そして宗石さんの入社あいさつ、プロジェクト委員の決意表明が行われ、最後に江南ラミネートの健康と発展を祈ってみんなで乾杯！ 午後からは、社長と代表者のみなさんで、八幡神社に参拝に行ったあと、代表&奥さんに挨拶に行き、良き1年のスタートすることができました♪

乾杯！



HAPPY BIRTHDAY

三好 将人 2月1日 53歳	後道 将貴 2月9日 25歳	宮崎 雅美 2月22日 42歳	岡崎 大樹 2月25日 43歳
-------------------	-------------------	--------------------	--------------------

2月1日 入社  
高石萌美さん♪


前向き



毎月1人をランダムにピックアップ！  
仲間のことをもっと知ろう！というコーナー

今月の主役！

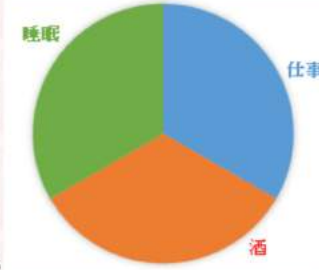
月の主役は保土立樹さんです。皆さんの知らないアレコレ、調査してきました！保土さんはマイペースで平和主義な性格で、趣味は音楽を聞いたり、ドライブしたり、お酒を飲むことだそうです！のほほんとした雰囲気な保土さんですが、実は幼稚園から小学6年生までずっとサッカーをしており、中学から今もバレーをしているというスポーツ人間です！また中学時代はキャプテンや学級委員長もやっていたそうです！文武両道ですね！休みの日は基本的にソファで横になってひたすらダラダラして、夕方軽くランニングして温泉に行って帰ってお酒飲んで1日を終えるそうです。なんだか定年後の男性みたいな過ごし方です(笑)好きなものは、ほろよいで布団にくるまって寝る瞬間・服・辛い料理・鶏肉・1人でどこかへ行くことで、苦手なものは、人混み・集団行動・若い世代のノリ・ハジけるタイプの食べ物・甘いもの・色々自分のことを聞かれることです！(このインタビューも実は相当苦痛だった...?!笑)お気に入りのアーティストは「AAA」「BACKSTREET BOYS」「Austin Mahone」だそうです！知らない方は検索検索！



◆あなたの10年前

10年前の保土さんは13歳の中学1年生。幼稚園からやっていたサッカーからバレーに切り替えて上手くなる為に必死でした。学業では体育委員長になったり学級委員になったりで忙しくてあまり覚えてません(笑)とのこと。

◆脳内パーセンテージ



均等！笑

◆前回の主役(鎌倉さん)からの質問

Q、①何でコート着る時袖通さんの？かっこええな！  
②好きな芸能人誰？③どんな人好きなん？④次の主役教えて！

A、①基本的にめっちゃめっちゃ寒い時は袖通しますがそこまででもない時は羽織ります。羽織った時の全体のラインが好きです。②山田孝之・松坂桃李・松岡茉優・吉田羊。③最近あったこと今思ったこと等ひたすら喋ってよく笑う人。④秘密です(笑)

以上、保土さんの調査結果でした！  
次は誰が選ばれるか、お楽しみに♪

12月に「FOR YOU」をみんなで勉強しました。「今までは自分のことしか考えていなかったけど、これからはまわりの人のことを大切に考えていきたい」という声をたくさん頂きました。そこでインフルエンザの話。ちょうど1年前お世話になっている経営者の方と話している中で「うちの会社はインフルエンザが流行って機械を停めないといけないくらい欠員が出たから、この冬は予防接種の費用を会社が負担することにしたら、全員が予防接種を受けてくれて、そして結果的に一人もインフルエンザにならなかったんだよ、克晴君の会社も絶対に実行したほうがいいよ」とアドバイス頂きました。江南ラミネートでも毎年、数名インフルエンザにかかっています。インフルエンザにかかると本人もしんどいですが、家族や会社の仲間にも大きな負担をかけてしまいます。私の場合、清子がインフルエンザにかかるとどうなるか。朝5時に起きて会社に来て仕事をし、一度家に帰って子供と朝食を食べ、洗濯を干し、子供を幼稚園に送り再度9時頃出社。昼食を買って家に帰り、清子の仕事を引き継ぎ会社に戻り5時まで仕事をし、幼稚園と小学校に迎えに行き、夕食を食べ風呂に入浴、子供を寝かしつけ、また夜10時頃に会社に出社し残った仕事を片付けて深夜帰宅：書いてあるだけでソツとするようなスケジュールルになります(笑)そして清子が回復してもまた子供に感染、子供が治ったと思ったら疲れがピークになり、子供が治ると同時に自分もまた感染してしまいます。クの私に感染する・・・という悪循環が起り、仕事もバタバタしてミスが多くなり納期も遅れ、また大事な出張や打ち合わせが延期になり取引先のみならずみなさんにも迷惑をかけてしまうことが続発。こう考えると本当に一人一人が元気に会社に出社することはとても重要なことだと改めて感じます。そこで予防接種です。全員が予防接種して一人もインフルエンザにかかると周りの社員、家族、取引先に迷惑をかけるから、一人一人がみんなのためにできることをやろうよ」という社長の意図を感じ取り、インフルエンザが流行する時期の日常生活を健康第一に考え行動した結果なんだと思います。

インフルエンザの予防接種を受けることの意味は、自分がかかるかどうかの問題ではないんです。会社全体で初めて試みた施策を「大成功」に導くか、あんまり意味なかったねと「失敗」に終わらせるかという各人の意識の問題なんです。もう一度みんな「FOR MEな行動」と「FOR YOUな行動」とは何なのか、そして自分がみんなのためにどう行動したら良いのかということを考えてみてほしいと思います。 克晴

17日 関西紙工(株)さんで勉強させてもらってきました！

関西紙工さんが自分たちの作った製品を使って加工しているときに、実際に機械が止まってしまった様子を見た一樹さん。「百聞は一見にしかず」で、改めて自分たちの仕事への責任を痛感したそうです。また生産管理や品質管理の仕方の違いを目的にしていた藤田さんは、まずは班長がいなくても機械を動かしていけるように仕様書づくりから始めていくと決意表明してくれました。また今回の学びを表工場だけでなく、会社全体に活かしていこうと横山さん。学びはアウトプットしてこそ価値が出ます。1人の学びをより多くの人に広めることが大切だと思います。これからの3名の方の動きに期待しています！

いい会社づくりプロジェクト委員会より

「3つの凡事」の徹底をお願いさせて頂きましたが、みなさん実践してくれていますか？「いい会社」は当然出来てないとダメな事柄です。皆さんで意識をもって行動をお願いします。3月よりクラブ募集の受付開始です！面白いクラブが出てくることを期待しています♪